

◆授業のポイント◆

- ・ 実生活と関連付けた場面を設定した言語活動の工夫
- ・ 協働的な言語活動を取り入れた授業の工夫

# 英語科学習指導案

学 級 3年5組 (男子18名 女子18名 計36名)

場 所 3組5組 教室 (3年校舎3階)

授業者 教 諭 坂 元 エ リ

## 1 単 元 NEW HORIZON : English Course 3 Multi Plus 1 文化紹介

### 2 単元について

本単元では、Unit 1 で学習した表現を使って日本文化を紹介する内容となっている。モデル文として、湯呑が紹介されている。一文目にどのように呼ばれているか名称を紹介し、二文目に受け身の形を使って、どのように使われているか説明されている。日本文化を扱うことで自分たちの身近な道具や行事に興味をもたせ、自国の文化理解にも繋がる内容となっている。また、challenge では、日本との意外な関わりをもつアロハシャツの由来も紹介されている。

本学級の生徒は、ややおとなしいが、意欲的に授業を受けている。男女の仲がよく、英作文や音読練習など教え合う姿が見られる。英語を聞く活動が好きで、ALT の先生の話に興味をもって聞き、外国への関心も高い。しかし、聞かれたことに適切に応じたり、書いて伝えたりする活動はやや苦手で、応答に時間がかかってしまう。適切な表現を既習文法から選びコミュニケーションを図ったり、相手を意識して内容を選んだりするなど、よりよいコミュニケーションが図られる指導の工夫が必要である。

アメリカの中学生に向けて、茶碗や折り紙など自分たちの身近な日本的な道具やスポーツ、行事等にトピックを絞って英作文に取り組みせる。そうすることで、生徒が意欲的に言語活動に取り組むと考えた。また、ジグソー学習を取り入れ、英作文が苦手な生徒が、友達の意見を聞いたり、アドバイスを受けたりしながら英文を完成できるように留意したい。これらの言語活動を通して、既習事項を活用して自国の文化を説明する表現を学習させるとともに、コミュニケーションの相手を意識した日本文化の紹介となるように留意させたい。

### 3 単元の目標

- (1) 日本の文化について、間違いを恐れずに英語でコミュニケーションを図ろうとしている。
- (2) 既習の表現を用いて、わかりやすく日本の文化について話したり、書いたりすることができる。
- (3) 日本の文化や海外の文化について聞き取ったり、読み取ったりすることができる。
- (4) 日本の文化を紹介する表現を理解している。

### 4 単元の指導計画 (全3時間)

【Goal of Multi Plus1 : 日本文化についてレポートを作成しよう】 (□は本時扱い)

	主な学習活動	主な技能の統合	○ 実生活と関連付けた場面を設定した言語活動 □ 協働的な言語活動
第1時	新出語句 基本文の復習 (受身形) 内容理解 言語活動1 (日本文化の紹介)	r ↓ W	○ 日本文化の特徴を捉えてアメリカの中学生に紹介する英文を作成する。

第2時	復習 語句 言語活動2 (日本文化の紹介)	s / l ↓ W ↓ s / l	□ ジグソー学習を取り入れ、グループで協力して紹介文を完成させる。 ○ 日本文化の特徴を捉えてアメリカの中学生に紹介しよう。
第3時	長文読解 言語活動3 (日本の季節的な衣装の紹介)	R ↓ w / s	○ 季節毎の衣装の特徴を捉えて紹介しよう。

## 5 単元における評価基準

I コミュニケーションへの関心・意欲・態度	II 外国語表現の能力	III 外国語理解の能力	IV 言語や文化についての知識・理解
(言語活動への取り組み) ア 相づちをうつなど、相手の話に関心をもって聞いている。 イ 間違うことを恐れず積極的に日本文化の紹介を話している。 ウ 積極的に音読している。 エ 間違うことを恐れずに日本文化について書いている。	(適切な発話) ア 相手に分かりやすく日本文化について話している。 (正確な音読) イ 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。 (適切な音読) ウ 意味内容が伝わるように工夫して音読することができる。 (適切な筆記) エ 課題にふさわしい表現を用いて書くことができる。	(正確な聞き取り) ア 強勢やイントネーション、区切りなどの特徴を捉えて聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) イ 日本文化の特徴を聞き取ることができる。 (正確な読み取り) ウ 語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) エ メールや教科書の英文で大切な部分を読み取ることができる。	(言語についての知識) ア 基本的な強勢やイントネーションなどの違いを知っている。 イ 日本文化に関する語句や文、文法などの知識を身に付けている。 ウ 正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。 (文化についての知識) エ 日本文化の特徴を考えたり、アメリカ文化の特徴を知ったりする。

## 《 Can Do List との関連 》

Reading	Listening	Speaking	Writing
友達が作成した「日本文化」や「民族衣装」について読み取ることができる。	「日本文化」や「民族衣装」についての発表を聞いて、理解することができる。	「日本文化」や「民族衣装」について友達に発表することができる。	英語でメールを作成する際のルールを知り、友達に英語でメールを作成することができる。

## 6 到達目標問題

留学生の Kevin に日本文化を 3 文程度の英文で紹介せよ。一文目の ( ) に紹介したいものを書き、2 文目以降に具体的な内容を書け。英文は、4 語以上とする。

I am going to talk about ( shrine ).

Shrines are visited by many Japanese.

Every year I go to Gokoku to get a charm.

Let's go together and get a charm there.

### 採点の基準

- ① 自分の体験を生かして書かれているか。
- ② 既習事項の文法を適切に使っているか。
- ③ 日本文化の紹介になっているか。
- ④ 一貫性のある内容となっているか。

## 7 本時の実際 (2/3)

### (1) 題材 Multi Plus 1 文化紹介

#### (2) 目標

- ア 日本の文化について間違いを恐れずに英語でコミュニケーションを図ろうとしている。
- イ 紹介文を読む人を意識して英文を書いたり，話したりすることができる。
- ウ 日本の文化について友達の発表を聞き取ったり書かれた内容を読み取ったりすることができる。
- エ 日本文化を説明するための適切な表現を知っている。

#### (3) 授業設計の工夫

##### ア 実生活と関連付けた場面を設定した授業の工夫

##### 研究の視点1

言語活動の場面設定として、『アメリカの中学生に日本文化を紹介するレポートを作成しよう』とした。アメリカ人が知らない日本文化について紹介することで，彼らの日本への興味・関心が高まるような紹介になるように工夫させる。このような工夫を通して，生徒は自分の伝えたいことのみを表現するのではなく，相手のことを考え，よりよいコミュニケーションを図ろうとすると考えた。また，生徒は，自分たちの身のまわりの日本的なものを分かりやすく紹介する事で，自国の文化理解も深まると考える。日本とアメリカの文化を比べてお互いの文化のよさに気付かせ，外国の人とよりよく関わっていこうとする意欲も高まると考えた。

##### イ 協働的な言語活動を取り入れた授業の工夫

##### 研究の視点2

ジグソー学習を取り入れ，生徒に日本的なものや行事をそれぞれの体験を生かして紹介する英文を3文程度作成させることとした。まず個で英文を作成し，習熟度を考慮したジャンル毎のエキスパートグループでそれらを推敲し，その原稿をホームグループで日本の文化の紹介文として再構成させる。構成する際には，一人一人が作成した英文を生かしながら，一つのまとまった紹介文になるように取り組ませたい。このような工夫を通して，他者との学び合いの中から，よりよい表現を創り上げていくことができると考えた。

#### (4) 展開

時間 (分)	学習過程	主な学習活動	○ 指導上の留意点 ◎ 評価 ※ 授業設計の工夫
8	1 Greetings 2 Review 3 Introduction	1 あいさつをする。 2 前時の復習をする。 3 日本的なものの紹介を聞く。	○ 英語学習の雰囲気を作る。 ○ 日本文化を紹介した英文を音読させ，受け身の形を復習させる。 ※ アメリカからのメールの内容を全体で復習する。 ※ 日本文化を紹介するために必要な表現や語彙を確認させ，日本文化の紹介をイメージさせる。

32	4 Today's Goal	4 本時の学習目標を確認する。 アメリカの中学生に日本文化を紹介するレポートを作成しよう。	○ 学習の見通しをもたせる。
	5 Words 6 Preparation 7 Activity	5 紹介文に必要な単語を練習する。 6 日本文化を紹介するスライドを見る。 7 アメリカの中学生に日本文化を説明するレポートを作成する。 ① エキスパートグループで英文を発表し、それぞれの内容を必要に応じて推敲する。 ② ホームグループで持ち寄った日本文化の紹介を発表し、レポートとして1つにまとめる。	○ 日本文化を紹介する上で必要な英単語をいくつか紹介する。 ○ スライドを見せ日本文化についてイメージをもたせる。 ※ グループで協力して日本のものを紹介する英文を作成させる。
10	8 Presentation	8 全体で発表する。	◎ 間違ふことを恐れずに積極的に日本文化の紹介を書こうとしていたか。(I-エ) ※ 読む相手を意識させ、日本文化の紹介レポートを書かせる。 ◎ 適切な音量や明瞭さで発表できたか。(II-イ) ◎ 日本文化の特徴を聞き取ることができたか。(III-イ) ※ 発表内容を確認したり、よい表現を取り上げて褒めたりし、意欲的な学習に繋がるように留意する。
	9 Consolidation 10 Self-Evaluation 11 Notice 12 Closing	9 日本文化の何を紹介したか確認する。 10 自己評価する。 11 次時の予告を聞く。 12 終わりのあいさつをする。	◎ 日本文化を紹介する表現を理解したか。(IV-ウ) ○ 学習意欲を高めるような話をする。 ○ 元気よく行わせる。